

科目名 (科目番号)	疾病の成り立ちⅡ (091221)	教員名 可知 謙治	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		D302研究室		
授業概要	<p>病気はなぜ起こるのか、病気によって症状が異なるのはなぜか、普遍的で重要な疾病を中心に、人体の構造と機能で学んだ知識をもとに病態生理・病理を理解し、症状と治療の概略にも触れる。この授業では①腎炎など泌尿生殖器の主な疾病、②変形性関節症など運動器の主な疾病を取り上げ、③全身性の主な疾病では疾病の個人差・性差・年齢差にも触れる。図版や視聴覚教材を利用し、疾病の特徴を視覚的に理解する。</p>						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	オリエンテーション 腎・尿路系(1)	到達目標:急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:腎疾患の病態と治療を学ぶ。				
	2	腎・尿路系(2)	到達目標:急性腎障害、慢性腎臓病について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:腎不全の病態と治療を学ぶ。				
	3	腎・尿路系(3)	到達目標:尿路結石症などについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:尿路系疾患の病態と治療を学ぶ。				
	4	血液・造血器系(1)	到達目標:鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血などについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:貧血の病態と治療を学ぶ。				
	5	血液・造血器系(2)	到達目標:再生不良性貧血、溶血性貧血などについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:貧血の病態と治療を学ぶ。				
	6	血液・造血器系(3)	到達目標:特発性血小板減少性紫斑病などについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:出血傾向をきたす疾患の病態と治療を学ぶ。				
	7	内分泌系疾患(1)	到達目標:下垂体性巨人症、尿崩症などについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:下垂体異常の病態と治療を学ぶ。				
	8	内分泌系疾患(2)	到達目標:甲状腺および副甲状腺機能亢進症などについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:甲状腺、副甲状腺異常の病態と治療を学ぶ。				
	9	内分泌系疾患(3)	到達目標:クッシング症候群などについて病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:副腎異常の病態と治療を学ぶ。				
	10	栄養・代謝系疾患(1)	到達目標:糖尿病について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:糖尿病の病態と治療を学ぶ。				
	11	栄養・代謝系疾患(2)	到達目標:脂質異常症について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:脂質異常症の病態と治療を学ぶ。				
	12	栄養・代謝系疾患(3)	到達目標:高尿酸血症について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:高尿酸血症の病態と治療を学ぶ。				
	13	運動器(1)	到達目標:骨粗鬆症について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:骨粗鬆症の病態と治療を学ぶ。				
	14	運動器(2)	到達目標:骨軟化症、くる病について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:骨軟化症、くる病の病態と治療を学ぶ。				
15	運動器(3)	到達目標:変形性関節症について病因と病態、症状、診断、治療がわかる。 学習内容:変形性関節症の病態と治療を学ぶ。					
成績評価の方法・基準	期末試験の成績(100%)で評価する。						
教科書	栄養科学イラストレイテッド 臨床医学 疾病の成り立ち(改訂第2版)	田中明、宮坂京子、藤岡由夫編	羊土社				
参考図書	新版 病気の地図帳 改訂・増補版 からだの正常/異常ガイドブック	山口和克監修 沼田光弘監修	講談社 医学芸術社				
教員からのメッセージ	1年次に履修した解剖生理学をはじめとするさまざまな科目の知識が、疾患の病態と理解に役立つことを実感できるよう教科書を選定しました。自分と家族の健康維持のために、身近な病気を理解し予防に取り組みましょう。また、健康情報が溢れる今だからこそ科学的根拠に基づく医療を学びましょう。疾病の成り立ちでは主要な疾患を中心に見て行きます。						